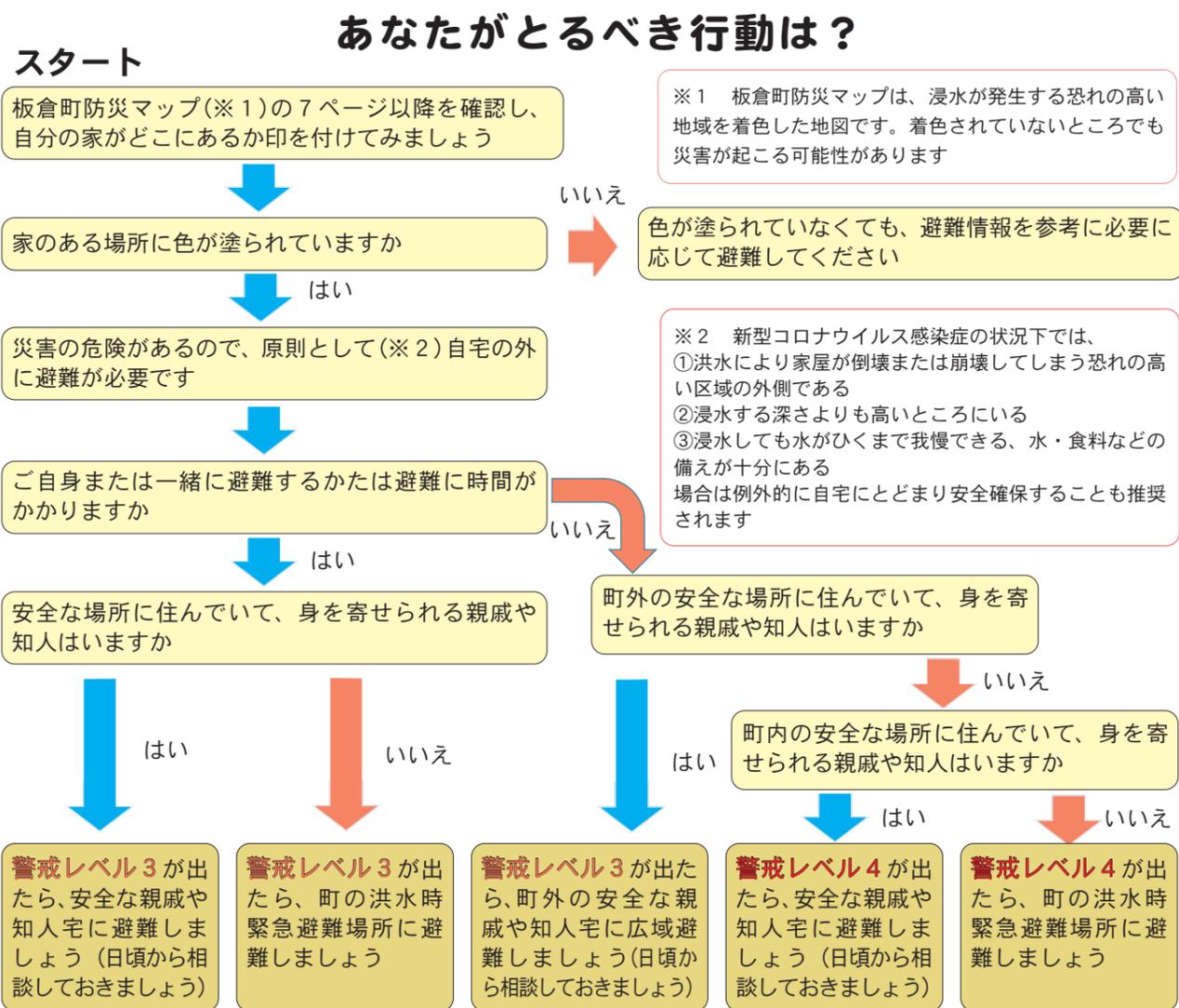
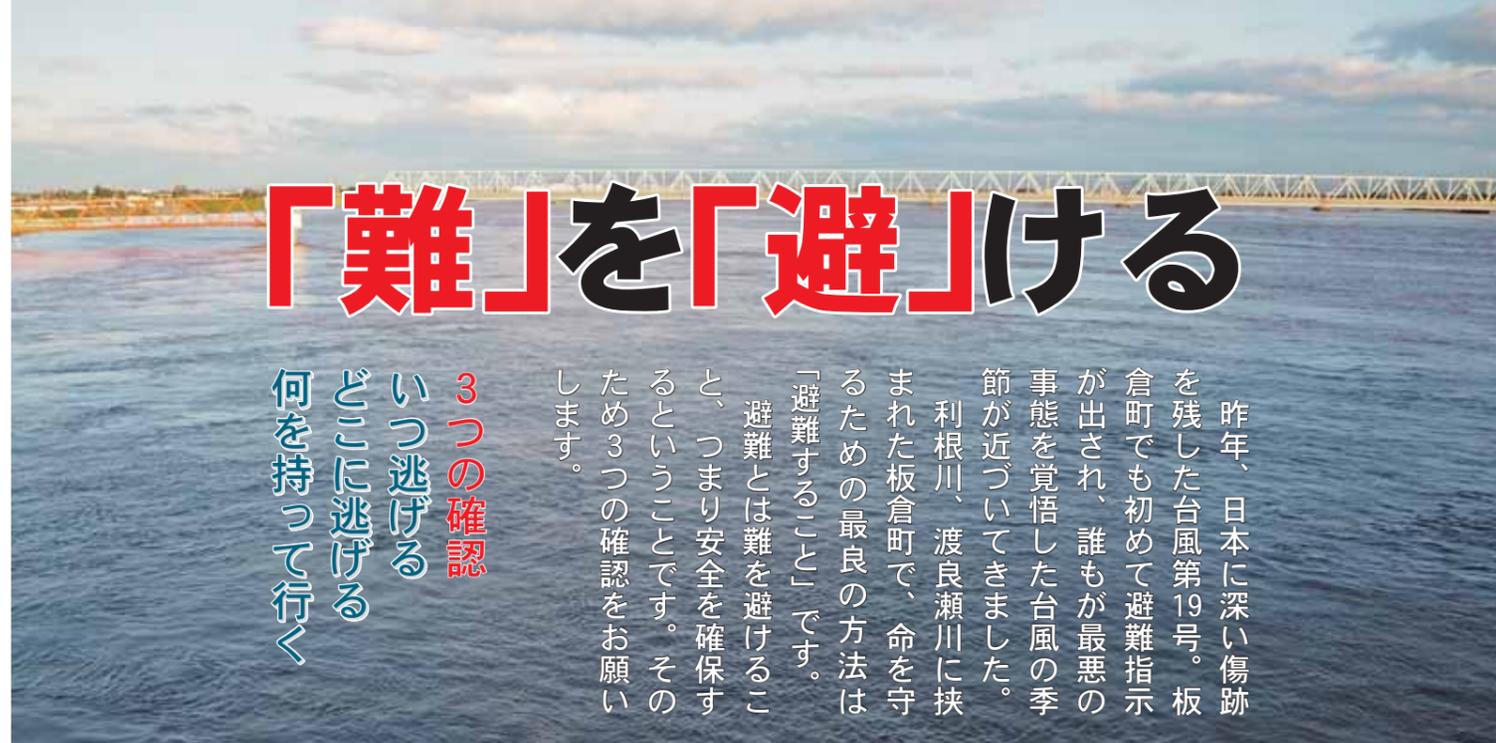




### 避難行動判定フロー



「警戒レベル4 避難指示(緊急)」の発令以降は、徒歩での避難が原則となります。早めの広域避難を検討しましょう



# 「難」を「避」ける

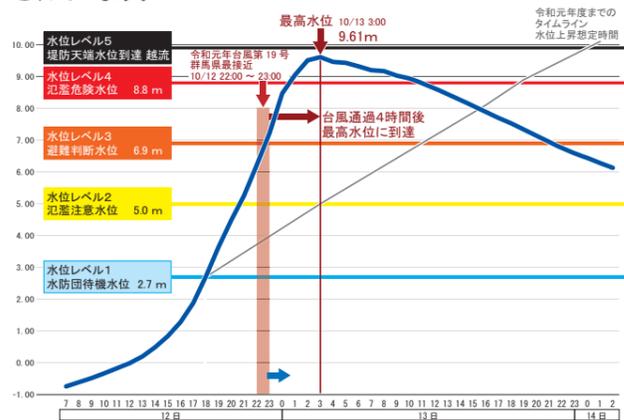
昨年、日本に深い傷跡を残した台風第19号。板倉町でも初めて避難指示が出され、誰もが最悪の事態を覚悟した台風の季節が近づいてきました。利根川、渡良瀬川に挟まれた板倉町で、命を守るための最良の方法は「避難すること」です。避難とは難を避けること、つまり安全を確保するということです。そのため3つの確認をお願いします。

**3つの確認**  
いつ逃げる  
どこに逃げる  
何を持って行く

### 板倉町防災マップを策定

板倉町防災マップを策定しました。令和元年の台風第19号の経験と、「自らの命は自ら守る 自分たちの地域は自分たちで守る」を合い言葉に、浸水想定区域図のほか、マイ・タイムラインや風水害、地震対策など防災全般に対して役立つ内容となっています。これを機会に、もう一度防災について家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

防災マップ1ページでは、台風第19号時の水位上昇グラフが掲載されています。



このグラフでは、大雨の大部分が24時間に集中したため、想定していた時間よりも短時間に急激に水位が上昇したこと、また台風が通過して約4時間後に利根川の水位がピークを迎えていることが分かれます。つまり上流で降った雨が流れてきて、越水の恐れが最も高まった時間帯です。しかし、台風が過ぎたこの時に避難場所から帰宅したかたもいます。雨がやんでも、避難指示が解除されるまでは、避難場所から出ていくのは危険です。



新しくなった「板倉町防災マップ」いざというときのために必ず確認

問合せ 安全安心係  
☎ 82-6123

# 何を持って行く

- 飲料水 非常食**  
水 レトルト食品 など
- 生活用品 衛生用品**  
防災ラジオ 懐中電灯 毛布 など
- 医薬品 貴重品・衣類**  
常備薬 お薬手帳 通帳 印鑑 下着 靴下 など
- 乳幼児のいる家庭**  
粉ミルク ベビーフード 紙おむつ おしりふき など
- その他**  
携帯電話 など
- 高齢者のいる家庭**  
予備のめがね など
- 障害者のいる家庭**  
障害者手帳 など
- コロナ対策**  
マスク 体温計 消毒液 など

大規模災害時に被災地まで救援物資が届くには、おおむね3日かかるといわれています。非常時の持ち出し品は必要最低限なものにして、すぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。



## 避難場所における新型コロナウイルス感染症予防対策

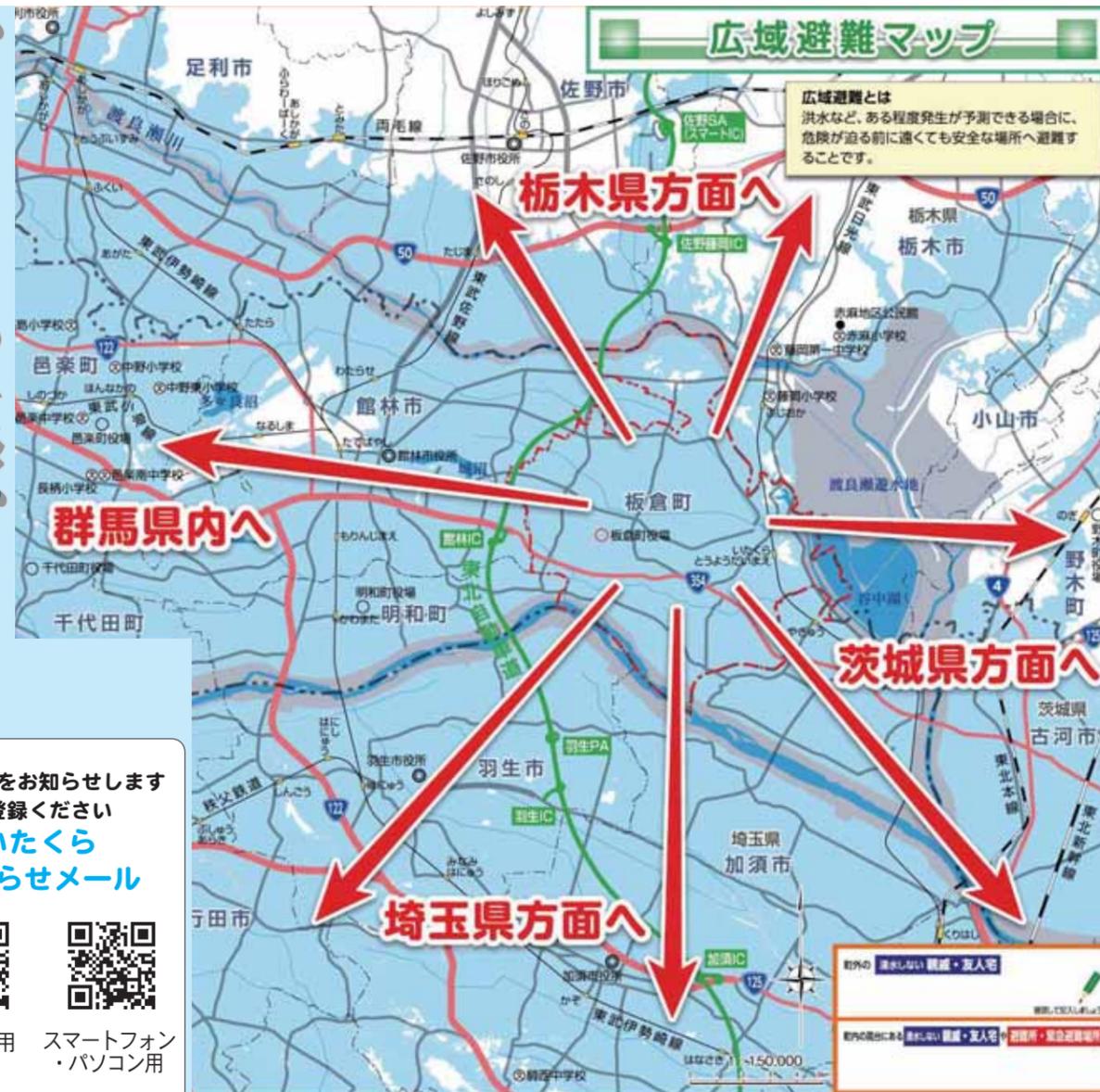
### 【町の取り組み】

町では、マスク・非接触型体温計・消毒液の備蓄を行います。また、可能な限り避難場所内の換気・ソーシャルディスタンスの確保に努めます。

### 【避難する際のお願い】

避難する際は、各自でもマスク・体温計・消毒液を持参し、避難場所では、せきエチケット・手指衛生などの徹底をお願いします。

# どこへ逃げる



**広域避難マップ**

広域避難とは、洪水など、ある程度発生が予測できる場合に、危険が迫る前に逃くても安全な場所へ避難することです。

避難情報をお知らせします  
ご登録ください  
いたくら  
お知らせメール

携帯用 QRコード  
スマートフォン・パソコン用 QRコード

## みんなで作ろう マイ・タイムライン



**マイ・タイムライン**

「マイ・タイムライン」とは、台風が接近する時などのために、自分や家族の基本的な行動をあらかじめ決めておくものです。

防災マップ4ページに、板倉町タイムライン(防災行動計画)にあわせた「マイ・タイムライン」が記入できますので、記入しましょう。

今後、防災講習会を実施していきますので、ぜひご参加ください。

**台風・豪雨時の知識や行動を学びたいかのために**

「自分の命は自ら守る」ための基本的な知識と行動を学べるよう、インターネットを用いた学習教材(eラーニング)が気象庁ホームページで無料公開されています。

パソコンやスマホで、時間や場所を気にせず自由に受講できますので、ぜひご利用ください。

気象庁 eラーニング「大雨の時にどう逃げる？」  
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-el/dounigeru.html>

## 早い段階で、町外の浸水しない親戚・知人宅へ



このアンテナが防災情報を受信します  
こちらはFM用

災害ではどこに逃げれば安全といえる場所はないかもしれません。それでも平時から考えておくことで、避難指示を待つことなく、早めの避難行動が可能になるものと思います。何よりも命を大切にしてください。

水害が発生した場合、町の避難場所の多くで、駐車場を含め、一階部分の水没が予想されます。

避難場所は決して快適ではありません。多くのかたが避難してくれば、プライベートを守ることも困難です。そして避難場所での密集がコロナウイルスなど感染症のリスクを高めます。水害発生となれば、避難場所に孤立することになり、長期間の不自由な生活を余儀なくされることになります。早い段階で町外の浸水しない親戚や知人宅への避難を最優先に検討してください。

また、警戒レベル4になってからの車の移動は、渋滞などを引き起こし大変危険です。

防災のための情報は、テレビ、ラジオ、インターネットなど、さまざまな方法で確認しましょう